

保育者ワークショップ

身近な素材でおもちゃをつくろう

仁愛女子短期大学 講師 香月 拓

◆ 講座要項掲載内容 ◆

子どもは自由に遊ぶ発想力と行動力が備わっている、いわば遊びのスペシャリストです。そのため、身のまわりにあるものなら何でも遊び道具にしてしまいます。そのような身近にある素材を使っておもちゃをつくることのできたら、子どもの遊ぶ力をさらに引き出すことが出来るのではないのでしょうか。そこで今回は、身近にある素材で簡単にできるおもちゃを作って遊んでみようと思います。参加者の皆さん自身が手を動かして、遊びの楽しさを実感してください。

※牛乳パック（切り開いていない1000mlのもの）、ペットボトル（500ml）を各自で持参してください。

◆ 開催期日 ◆

平成26年11月1日（土）13:30~15:00



◆ 開催内容 ◆

1. はじめに

子どもにとって遊びとは「生活そのもの」であり、とても重要です。子どもたちは自由に遊ぶことを通して多くのことを学んでいきます。そして、その遊びをサポートするものの一つにおもちゃがあります。

今でこそ、世間には多種多様なおもちゃが溢れていますが、もともとおもちゃとは買うものではなく作るものでし

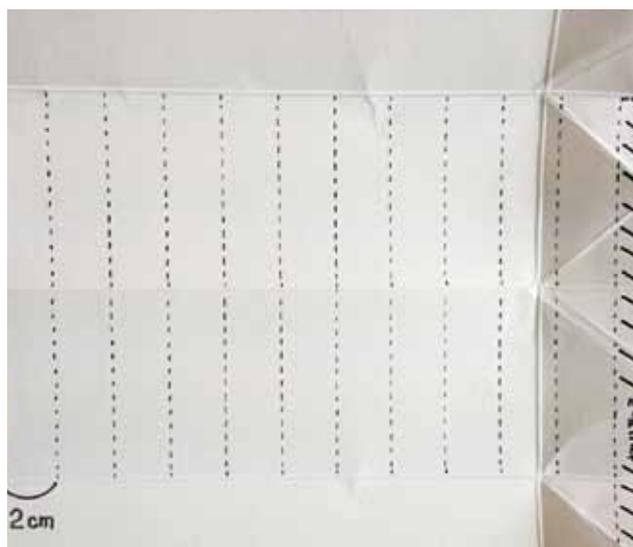
た。そして、子どもたちは新聞紙や牛乳パック、人間の体など身近にある素材だったら何でもおもちゃにしてしまいます。そんな時、私たち大人が身近にある素材にアレンジを加えておもちゃを作ることができれば、子どもたちの遊びはより豊かに展開していきます。そこで、今回のワークショップでは、牛乳パックと500mlのペットボトルを使って簡単にできるおもちゃを作りました。

2. 工作「牛乳パックのフリスビー」

最初に「牛乳パックのフリスビー」を作りました。直線でできている四角い牛乳パックから、円形のフリスビーができるのも手作りおもちゃならではの面白さではないでしょうか。

工作過程は以下の通りです。

- ①牛乳パックを平たく開いて11本の切りこみを入れる。
- ②マジックで柄を描く。
- ③半分に折って、ハサミで切る。
- ④輪にして、両面テープでとめる。



3. ブンブンごま

2つ目のおもちゃとして、牛乳パックの底の部分を使い、ブンブンごまを作りました。底の部分に絵を描いた後、2ヶ所穴を開けてたこ糸を通すだけの簡単なものですが、その名のとおり、回すとブンブンと音が鳴って繰り返し遊べるおもちゃです。



4. 牛乳パックのリース

最初に作ったフリスビーは外で思い切り投げて遊ぶおもちゃですが、そこにひと工夫加えるだけで、全く違ったおもちゃ「リース」にもなります。リースとは、花や葉、木の枝などを編んで作った輪飾りのことで、牛乳パックのフリスビーとペットボトルを使います。牛乳パックとペットボトルという性質も特徴も違う2つの素材を同時に使って、1つのおもちゃを作るということも身近な素材を使っておもちゃを作る楽しさといえます。

工作過程は以下の通りです。

- ①牛乳パックフリスビーの真ん中の輪の部分に500mlペットボトルの底を切ってはめる。
- ②ペットボトルを両面テープで固定する。
- ③ペットボトルのキャップやモールなどで飾り付けをして完成。



5. おわりに

今回のワークショップは、参加人数がそれほど多くなかったのですが、お互いに教え合いながら和やかな雰囲気で行うことができました。このように、身近な素材でおもちゃを作って遊ぶことでコミュニケーションが生まれるのも、おもちゃ作りによる楽しさの一つだといえます。また、手作りおもちゃは壊れてもすぐに作りなおすことができるので、大胆に遊ぶことができます。そして、子どもと一緒に作るおもちゃやアレンジを加えることで違った遊びができるおもちゃなど、手作りおもちゃにはたくさんの面白さがあります。このような特性を知ることによって、さらに子どもたちの遊びが広がるような支援をしていけるのではないのでしょうか。

当日ご参加いただいた方々からは「おもちゃだけでなく、ひと工夫でクリスマスリースに変わることに驚いた」や「簡単にできるものばかりだったので、園でも早速やってみよう」など、色々な意見を頂戴いたしました。今後もこのような機会がありましたら、保育の現場に取り入れられるような手作りおもちゃを紹介していきたいと思っています。